

各位

金融リテラシー向上を目的とした従業員向け 「金融教育プログラム」のトライアルを開始

無料 FP 相談サービス「マネードクター」を運営する株式会社 F P パートナー（本社：東京都文京区、代表取締役社長：黒木 勉、証券コード：7388、以下「当社」）は、企業に所属する従業員向けの「金融教育プログラム」（以下「本プログラム」）を開発し、トライアルを 2023 年 7 月より開始いたします。

本プログラムは、受講者が自らの将来設計や価値観・ライフスタイルに応じた金融商品選択を行えるよう、プログラムを通じて、一人ひとりの学びに寄り添いながらサポートするサービスとなります。

金融教育プログラム開発の背景

現在の日本では、高齢化社会の到来や低金利環境の長期化など、個人の資産形成や将来生活の安定に関わる重要な問題が顕在化しています。また、インターネットの普及により、個人で簡単に金融商品に関する多くの情報を取得することが可能となりました。その一方で、情報に対して知識や経験の不足から正しい判断ができず、目的に合わない高リスク商品へ加入する等のトラブルが増加しています。

「金融リテラシー調査（2022 年）のポイント」によると、60 歳までの社会人層においては、過去に金融教育を受けたことがない人の割合が約半数となっている一方で、金融教育を求める声は 70%を超えており、受講ニーズは大きいことが読み取れます。また、「望ましい金融行動」（金融機関の比較や商品の比較等）をとる人の割合は、金融教育を受けた経験がある人の方が、そうでない人より約 20%高い水準[※]にあり、金融知識の習得が資産形成においては重要な要素であることがわかります。

さらに、金融トラブルの経験の有無の調査では、金融教育の受講経験があるものの、理解度が低い人ほど高い割合でトラブルを経験しているという結果も読み取れます。この結果からも、体系的な教育の受講に加え、学習に取り組む姿勢・理解度の確認へのサポートが重要であると言えます。

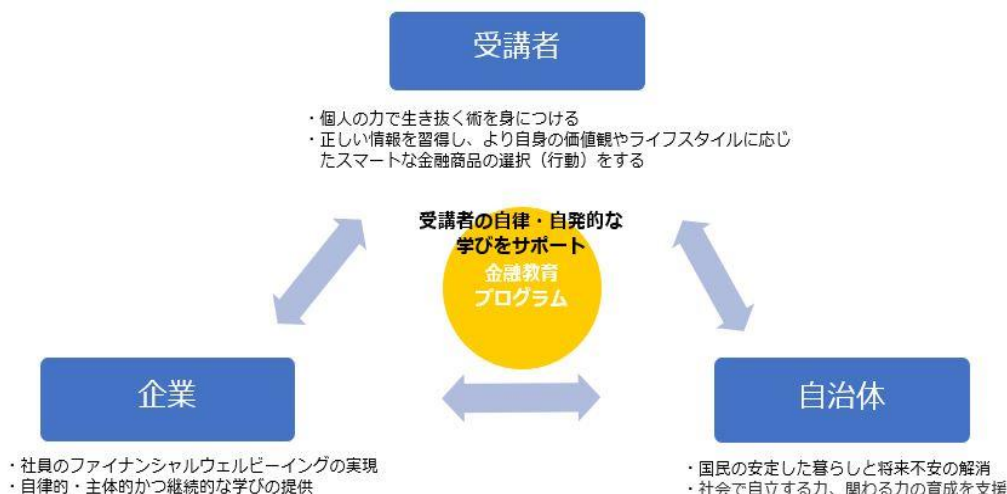
（出典：[金融広報中央委員会](#)、※当社にて算出）

これからの時代において、自らの力で生活基盤を整えるためには「望ましい金融行動」が必要不可欠と考えます。当社は幅広い世代の方々が「望ましい金融行動」を起こすきっかけとなることを目指し、正しい情報を習得するために学びの機会の提供を行う本プログラムの開発、および実施に向けたトライアルを行うことを決定いたしました。本プログラムを通じて、受講者の学びに寄り添いながら、それぞれの価値観やライフスタイルに応じた金融商品の選択ができるようサポートしてまいります。

<当リリースに関するお問い合わせ・ご取材のお問い合わせ>

株式会社 F P パートナー マーケット推進部 金融リテラシー推進室

TEL : 03-6801-8248 Email : alliance-room-k@fpp.jp / promotion-of-financial-literacy_div@fpp.jp



プログラムの概要

本プログラムは、「投資」「不動産」「税金・社会保険」「保険」「暮らしと生活」「相続」の6つのカテゴリ（全29単元）で構成されており、受講者の生活環境や価値観・方向性に合った単元をセレクトし、オンラインで提供いたします。学びの難易度が高いと敬遠されがちな「金融教育」について、働きながら自らのペースで取り組むことができるプログラム構成となっています。

また、進捗状況の管理や質問対応など受講者に伴走する「カスタマーサポーター」を配置し、共に学びの目標を達成するためのサポートを提供する点、中立的な立場で資産形成に関するアドバイスを行う「ファイナンシャルアドバイザー」を配置している点が大きな特長となっています。

なお、本プログラムは導入いただく企業に所属されている従業員の方々を対象としたサービスとなります。



株式会社FPパートナーについて

【会社概要】

社名：株式会社FPパートナー

本社所在地：東京都文京区後楽 1-5-3 後楽国際ビルディング 5F

代表者：代表取締役社長 黒木 勉

事業内容：保険代理業、金融商品に関するファイナンシャル・プランニング業務

設立：2009年12月

HP：「FPパートナー」 <https://fpp.jp/>

「マネードクター」 <https://fp-moneydoctor.com/>

<当リリースに関するお問い合わせ・ご取材のお問い合わせ>

株式会社FPパートナー マーケット推進部 事業推進一課・金融リテラシー推進室

TEL：03-6801-8248 Email：alliance-room-k@fpp.jp / promotion-of-financial-literacy_div@fpp.jp